



下山不要の中高年向き(?)の沢

---

## 尾瀬 実川 上曲沢、硫黄沢

---

小川他

【日時】 2010年7月17日(土)～18日(日)

【メンバー】 L小川、煤孫、坂村、坂井

梅雨明け直前の天気の微妙な時期に尾瀬に行った。計画では硫黄沢を遡行、上曲沢を下降する予定だったが、天候が今ひとつだったので日帰り2本に変更した。

7月17日(土) 上曲沢(小川)

桜枝岐への道は長い。カーナビも無く、辺りも電灯も少ない道进行中、1100ccのフィットを追い抜いていく数多くの車だけを頼りに物産店らしき駐車場に着いたのは2時近かった。すでに車が多く、さすが尾瀬といった感じ。

17日の朝は眠いまま、七入より入山。硫黄沢の脇に宿泊装備をデポして上曲沢へ向かう。すぐに山菜取りのオッチャンに出会う。確かに先の道はワラビ路になっていた。その路にはきれいに数本ずつワラビが採り残されて自然との付き合いになれた方と思われる。

上曲沢はいたって地形図どおりで1450m付近に大滝が2個、地形図上の滝マークに4段の滝があつて、あとはほぼゴーロであつたが、人臭い尾瀬にて静かな沢の流れを聞いてポクポクと歩くのも楽しい。それぞれの滝をメンバーの各人にルートを考えてもらい、まあここが妥当でしょうという所(か、小川が行きたい所)を選択して進んだ。

メンバーの考えも個性が出るもので、初めの滝は10mほどだが坂村さん、坂井さんは左を巻き(巻きなら正解ですね)、イケイケ煤孫さんは水流右を登れそうと色々違うもの。結局、煤孫さんが直登したがかなり苦労して小川が先を登って越えた。二個目の滝は右の巻きで全員一致だが、煤孫さんはもう少しルートの詳細をみて、要所要所で「このルートでいいか、他にルートはないか」確認して見ると詰まることはないかなー、という印象。

沼山峠に飛び出してみれば、辺りは売店とハイカー。サイダーで今日の遡行祝いとした。硫黄沢出合にてデポを拾って幕営とする。



【初めの10m滝は右を登る】



【二つ目の滝は右を巻く（写真は煤孫さん）】

7月18日(日) 硫黄沢(煤孫)

堰堤を越えて遡行を始める。なかなか水量が多くて楽しそうだ。

しばらくして小滝が連続してかかる。それぞれ右、右、左から越えた。ガイドブックに記述されていた滝だが、小川君の教育的配慮で両側を偵察してから登った。ガイドブックの記述と逆の方が登りやすいこともあった。

釜を持った2段の滝を左から巻く。次に出てきた大釜を持った滝を右の踏み跡をたどって巻く。人が多く入っている沢なので、難所の前には踏み跡があった。逆に踏み跡を見つけると「この先は難しいのだな」と思うようになった。

プールのような釜をみると、坂井さんは泳ぎたそうだった。後で聞いたら大学のワンゲル時代に、釜で泳いで遊んだことを思い出したそうだ。

二俣で右から3段の滝がかかる。草が多くて緑色に見えた。ガイドブックに「コケ状の滝」をあるものだろう。

5mの滝を左の虎毛のロープをたどって登った。後日の集会で、会長から虎毛ロープに頼ってはいけないとの話があった。この時は全員虎毛のロープを使ってしまったが、今から思うとトップはお助けを出すべきだった。

大瀑は左から巻く。左のルンゼを小川君にリードしてもらった。ここは少し戻ってガレ場から登ることもできたが、小川君の教育的配慮で泥ルンゼを登った。自分はまだ泥壁が苦手だ。この泥壁は自分ではリードできなかった。

しばらくして2段15m上段横向きの滝があった。下から見てどうやって登るのだろうと不安になった。下段は5m位で直登はシャワークライミングになる。上段は右向きで下からは見えなかった。

下段は登れないと判断して右から取り付いた。少し悪かった。テラスで支点を取って後続を確保する。小川君は自分が登れないと判断した下段をシャワークライミングで登ってきた。

上段は小川君が偵察したが最後の垂直気味の壁を全員登るのは無理と判断した。右に残置シュリングを見つけたので、右から巻く。木も草もないところがあって少し怖かった。ここがこの沢で一番緊張したところだった。

しばらくして最後のゴルジュが現れた。最後の一步が悪くて小川君が高く登ってお助けをセットした。落ちて濡れるだけなのでエイヤで取り付いてもご愛嬌だったと思う。最後のゴルジュは、ガイドブックの廻行図には長く描かれていたが、実際には短かった。

最後のゴルジュを通過すると、小滝がいくつかがかかるが簡単に越えられた。開けた流れに太陽が当たって、沢がキラキラ光って綺麗だ。自分はこんな沢歩きも好きだ。紅葉期はさぞかし美しいだろう。

道路が近づいてきたところで右から来た支流に入る。しばらくすると右手にバスが通るのが見えたので、20mほど藪をこいで車道に出た。シャトルバスに頼んだら途中乗車させてもらえた。シャトルバスで御池まで行って、七入行きバスに乗り換えて七入駐車場まで戻った。沢を詰めて下山しないで戻れるなんて、なんだか変な感じだ。



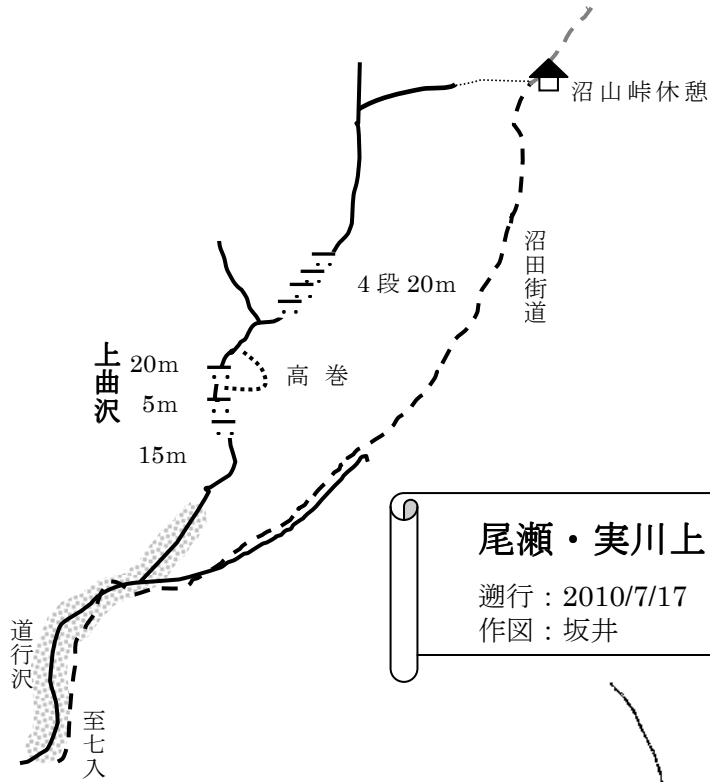
左:大瀑の上のナメ滝、右:最後のゴルジュ

【グレード】 上曲沢2級、硫黄沢2級上

【行程】 7/18 七入山荘(8:30)～入渓点(9:30)～2段10m(13:30)～沼山峠バス停(15:00)

7/19 幕場(6:00)～上段横向きの滝(10:00)～最後のゴルジュ(11:30)～車道(13:50)

【地図】 燧ヶ岳



**尾瀬・実川上曲沢**  
 遡行：2010/7/17  
 作図：坂井

2010.7.18  
 尾瀬 実川 硫黄沢  
 作図：坂村

**尾瀬・実川硫黄沢**  
 遡行：2010/7/18  
 作図：坂村

